

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川 昌一 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費 (内用地補償費)	億円
		通常砂防事業 たこうたに 田高谷川	多可郡黒田庄町 たこう 田高		約6.0 (約199百万円)
所在地				着工予定年度	完成予定年度
多可郡 黒田庄町 田高				H14年度	H17年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進み土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工を設置して地域住民の人命・財産を保全する。	・砂防堰堤工 2基 (H= 14.5m , L= 109m) (H= 11.0m , L= 81m)

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・田高谷川は土石流危険渓流である。 ・流域の荒廃が進んでいるが、砂防設備は未整備である。 ・保全対象 : 人家 = 38戸、公共施設 = 公民館 , 町道 ・平成 11年 9月 6 ~ 7日の集中豪雨により下流へ土砂流出が発生しており、今後も土砂災害の危険性は高い。 ・町道が被災すると生活道路が分断される。
地域の活性化	・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され下流域の有効な土地利用が図れるようになる。
快適性・ゆとり	・堰堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより安全で快適な生活空間を提供する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの事業化への要望が強い。 ・地元の土砂災害に対する認識度が高い。
(2)有効性・効率性 有効性	・多くの人命及び財産 (人家 38戸)及び公民館が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・地元からの要望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流の想定被害区域には人家が 38戸と多く、流域状況は浸食・崩壊が進んでいて、荒廃度が 10% を越え、土砂災害の危険性が高い。 ・H11年 9月の豪雨で、下流へ土砂流出が発生していることから田高地区の多くの人命及び財産を保全するために緊急な対策を必要とする。

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。
-------	------	------	---------------------